

6月5日(日)は運動会です。コロナ禍での開催が3年目となりました。今年度も入場行進やPTA競技等を取りやめ、子どもたちの団体競技、団体演技、個人走・リレーを中心に行い、午前中のみで開催とさせていただきます。5月16日から始まった運動会練習では、子どもたちは元気よく練習しています。運動会当日を楽しみにしてください。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

ところで、これから梅雨の時期になります。新型コロナウイルスの感染予防だけでなく、体調を崩さず元気に学校生活を送れるように、ご家庭でも規則正しい生活を送るようにご指導お願いします。

みんなが主役！最高の運動会を！

6年生



今年もめあては、

「**全力を出し切って みんなで協力し合って 絆を深めよう**」です。

練習が始まった頃は、下を向いたり、砂をいじったり、先生方の言っている声の中々、子どもたちに届きませんでした。

でも、毎日練習しているうちに少しずつ、良い演技になってきました。運動会当日、どんな演技を見せてくれるか、楽しみにして下さい。

子どもたちの笑顔をしっかり、見て下さい。

5年生



4年生



3年生



2年生



1年生



《2年町たんけん (5/9)》

日頃遊んでいる場所や登下校の道も、クラスみんなで探検すると、いつもとは違った景色や色々なものが見えてきます。「こんなところにこんな花が咲いているよ。」「あの犬、通る人にいつもしっぽを振ってるよ。」「この木は何の木やろ。どんな実をつけるかな。」などなど。



学校に帰ってからは、それぞれの発見や感想を生活科の「わーい！ニュース」に絵と文章でまとめました。

《集団下校訓練》 (5/25)



大雨のシーズン前に、集団下校訓練を行いました。地震、台風、コロナ等でいつ急な下校が必要となっても、子どもたちが慌てないように、訓練を行いました。

下校色別の班と「なかよし」に行くグループに分かれ、先生が付き添って下校しました。1年生は初めての経験でしたが、戸惑うことなく、一生懸命訓練を行うことが出来ました。

《1年公園めぐり (5/13)》

曇り空の中、二列に並んで、校区内の公園をめぐりました。公園めぐりのめあては、「校区内の公園の場所を知り、公共のルールを覚える。交通ルールを知る。」です。遊びに行ったことのある公園も、クラスみんなで行くと、いつもの公園が遊園地のように！子どもたちは、楽しく笑顔いっぱい走り回っていました。

学校に帰ってそれぞれの感想を生活科「わーい！ニュース」にまとめました。



《ヤングケアラーとは…？》

「ヤングケアラー」という言葉を最近よく聞くようになりましたが、皆さんはご存知ですか？「ヤングケアラー」とは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケアの責任を子どもが引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことを言います。



厚生労働省と文部科学省が令和2年12月から令和3年1月に行った実態調査の結果、中学生のおよそ17人に1人が「ヤングケアラー」にあたる事がわかりました。驚いたことに、自分の状況について、「誰かに相談するほどの悩みではないから」と考えて、相談した経験がない生徒が6割を超えていました。

わたしたちの身近にも、「ヤングケアラー」であることを自覚せず暮らしている子どもたちがいるかも知れません。

「ヤングケアラー」について正しく理解し、誰かに相談したり助けを求めたりしてもいい状況であるということを知ることが大切です。学校でも、子どもたちから発せられるSOSのサインを見落とさないように注意を払っていきます。

お子さんのことで、気になることがあったときの校内の相談窓口を紹介します。

相談窓口

- 特別支援教育関係の窓口 千畑教諭
- セクシュアル・ハラスメント関係の窓口 校長・教頭・西村、畑中養護教諭
- ※ 窓口担当に直接相談しにくいときは、まずは、担任など保護者の皆様が信頼できる教職員に、相談してください。校内で、連携をとります。
- ※ 第三中学校のスクールカウンセラーの九十九(つくも)綾子先生にも相談できます。予約の調整をしますので、ご希望のある方は、神野教諭までご連絡ください。(相談日は金曜日です)

東山の笑顔満開！！

黄色いランドセルカバーを付けた二人の児童。手を繋いで仲良く登校。「お友達？仲良いね。」と声をかけると、「うん、お家も今日、教え合っただ。友だちになったねん。」とのこと。

この関係が、今後何十年も続く友であって欲しいと思います。**学校には仲間がいる！だから、学校が楽しい！そんな学校にしていきたいと思っています！！**